

# ドクター板東の メディカルリサーチ

Vol. 135

~いま統合 医療が知られ 推進へ~



<http://pianomed-mr.jp/>

先日国会に出された法案が話題となつたのを覚えておられるだろうか？

いわゆるカジノ法案で、「IR推進法案」と呼ばれるものだ。ここでIRとは日本語では「統合型リゾート」となる。

統合という言葉はやや難しい。3つの町を統合して一つの市にするなどと使われる。つまり、二つ以上のものを統一的に合わせるという意味合いに。

そういうれば、数学に微分や積分があるが、積分の記号∫はインテグラルと読む。統合も積分も全体をまとめるというユアンスが感じられよう。

今回は、近頃注目されて来ている「統合医療」について触れてみたい。

## 統合医療

統合医療とはどのようなものだろうか？ 図1をご覧いただきたい。今までずっと我々が診てもらっている西洋医療に、補完代替医療が加わる。そして、そ

表1 IM(CAM)に含まれる5領域	
①代替医療システム	alternative medical systems
②心身の作用	mind-body interventions
③生物学的療法	biologically-based therapies
④手技・身体療法	manipulativebody-based methods
⑤エネルギー療法	energy therapies

表1

の全体に対して「統合医療」と呼ぶ。中には多岐にわたる施術が数多く含まれおり、おおむね、5つの領域に分けることができる(表1)。

## 日本統合医療学会

昨年末、仙台市で第20回日本統合医療学会学術大会が開催された(図2)。10年前には当時四国支部長であった中屋豊徳島大

学教授が大会長を務められ、私もお手伝いさせて頂いた。

次第にエビデンスが積み重ねられ、今年のテーマは

「統合医療に科学の光を

表1の②に含まれるのが音楽療法であり、最も広く受け入れられてきた。ヨガやアロマセラピーピーなどが挙げられよう(図3)。

日本から」。私は、四国支部の活動を報告し、また音楽療法のシンポを担当させて頂いた(図4)。



図1



図2



図4



図2

なお、本学会のロゴマークは、世界の医学や医師会など同様に、蛇をあしらつたものである(図5)。

## 支部の活動

日本統合医療学会には、全国に支部があり、地方でもさまざまな活動が続いている。

その中でも、神戸支部は素晴らしい。統合医療の理念を考えると、従来の医療では不十分であるため、補完代替医療や統合医療に含まれる施術を活用するものだ。各患者やクライアントに対するオーダーメード治療ができるよう、いろいろな講演会など啓発活動をいろいろな組織と協調して行つてきている。



図5

以前、同支部長の岡田昌義名誉教授から素晴らしい機会を得て、私は糖尿病と音楽療法の講演を担当させて頂いた(図6)。

岡田先生は長年ドイツの医学部で外科学教授も担当されておられた。私たち20数名が訪独する際に関係者をご紹介賜わり、フルランクフルトとハイデルベルグでコンサートを行い、音楽療法講座も2つ受講でき、充実した国際交流となり、心より感謝を申し上げた。

このような活動で大切なポイントは、統合医療という幅広い領域でいろいろな組織と共にリエゾンを続けている。

## 第13回全人的統合医療に関する神戸シンポジウム

〈Kobe Symposium on Integrated Medicine〉



図6



図7

なかでも、渡り鳥が数千キロも休まずに飛び続けられるとして、いまトピックスとなっている成分が知られ、

「イミダペプチド」が挙げられる。鳥の胸肉に多く含まれており、疲労を感じずに運動を継続できるとされている。

なお、動物や植物を含めて、様々なストレスが活性酸素を発生させている。すると、活性酸素や健康な細胞にも障害を及ぼすことがあり、このメカニズムによって、生活習慣病なども引き起こされると考えられている(図8)。

## 統合と総合

今回紹介した統合医療と似て、総合診療がある。

産官学連携 抗疲労食薬開発プロジェクト 参加企業一覧		
産	総合医科学研究所 責任者 梶本修身 (大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座特任教授)	3
製薬・化学 9社	旭化成㈱、大塚製薬㈱、花王㈱、櫻井カネカ、第一製薬㈱、大正製薬㈱、武田薬品工業㈱、田辺製薬㈱、日清ファルマ㈱	
食品 7社	アサヒビール㈱、隅田公園、㈱コカ・コーラ東京研究開発センター、ダイドードリンコ㈱、㈱ボッカコーポレーション、明治乳業㈱、理研ビタミン㈱	
総合商社 2社	三井物産㈱、三菱商事㈱	
官	大阪市「健康予防医療産業振興プロジェクト」	
学	大阪市立大学新産業創生研究センター	
	大阪市立大学、関西福祉科学大学、東京慈恵会医科大学、大阪大学、筑波大学	

図8

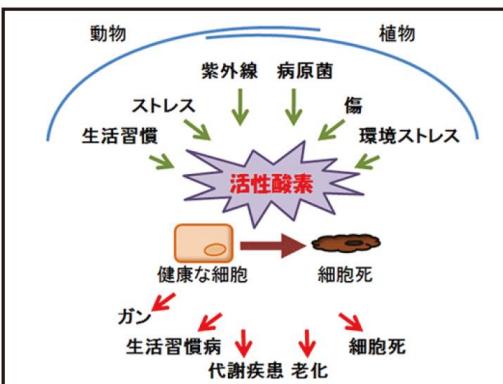


図8

これは、産官学が一致協力してプロジェクトを進めていることである(図9)。

統合はやや立体的、総合は幅広い印象かもしれない。いずれにせよ、患者中心の医療の展開が望まれる。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)

ついでに、本学会のロゴマークは、世界の医学や医師会など同様に、蛇をあしらつたものである(図5)。

## 四国支部

日本統合医療学会四国支部では、毎年秋に会員および興味がある医学・医療関係者が参集している。

昨年秋の研究会でも、いろいろな話題の発表がみられた(図7)。カイロ・プラクティック、音楽療法、ヨガ、理学療法・手技・身体療法などが挙げられよう。

ついでに、本学会のロゴマークは、世界の医学や医師会など同様に、蛇をあしらつたものである(図5)。